



拠点紹介



Taikisha USA, Inc. (大気社アメリカ)

Taikisha USA, Inc. (旧TKS Industrial Company)は1981年の設立以来、現地に根ざした事業活動を推進し、これまで、日系および非日系企業の自動車塗装工場など、豊富な施工実績を積み重ねてきました。

同社は設立から40年以上経過しておりますが、2024年6月、社名をTaikisha USA, Inc.に変更しました。

近年、電気自動車(EV)の需要が強く、新興EVやバッテリーメーカーなど、新たなプレイヤーに対しても大気社アメリカは塗装システムで培った技術を提供しています。また、非日系企業からの案件も増加しており、北米市場はかつてないほど多様化しています。

今回の社名変更により、グローバルでの組織対応力、財務基盤の安定性、環境対応技術に強みを持つTaikishaブランドを押し出すことで、今後の非日系や非四輪などへのポートフォリオ拡大、グローバル展開の推進を通して、さらなる売上拡大を目指します。



FOCUS

2023年の米国の新車販売台数は、半導体不足やバッテリー供給の制約が自動車業界の生産に影響を及ぼしたものの、EV関連、大型トラック、四輪車を中心に堅調な需要が見られ、前年比12.3%増となりました。2024年は、EV市場の減退感や経済の不透明さが続く一方、個人消費の底堅さが全体の販売を下支えし、2023年実績を上回る1,600万台前後と予想されています。

米国では、環境規制強化や気候変動対策に伴い、今後もEVおよび関連分野での需要拡大が見込まれます。大気社アメリカは、引き続き従来の強みを活かしつつ、EV工場やEVバッテリー工場を中心に様々な分野の新規投資や設備更新を積極的に取り込み、さらなる成長を目指します。



この写真は大気社の海外拠点があるアメリカの世界遺産、ヨセミテ国立公園です。
アメリカの拠点については、裏表紙をご覧ください。





株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、このたび当社第80期中間連結会計期間（2024年4月から2024年9月まで）を終了しましたので、概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 長田 雅士

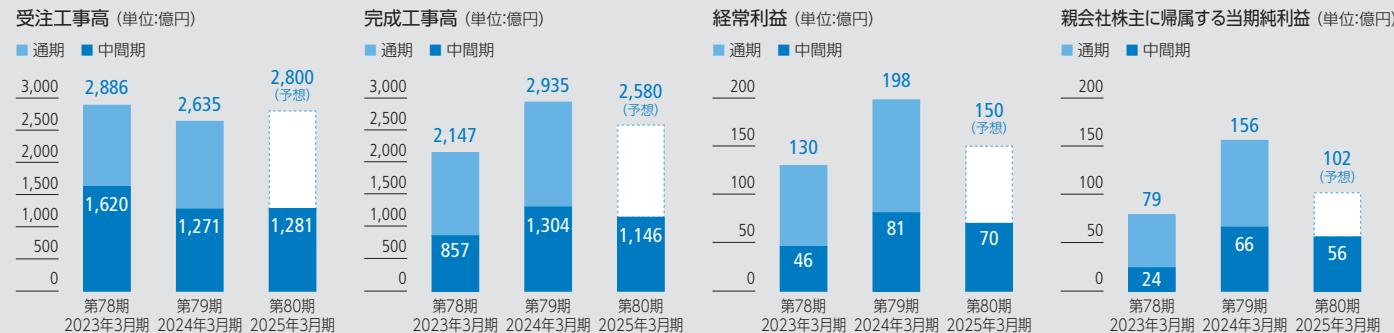
当中間連結会計期間の事業環境について

当中間連結会計期間の世界経済は、東欧や中東などの地政学的なリスクの長期化や、資源エネルギー価格の高止まり等により、不安定な状態が続きました。米国では、個人消費や設備投資は堅調さを維持しているものの、雇用環境の悪化や大統領選挙の不透明感を背景に景気は軟調に推移しました。中国では、不動産市場を始めとした内外需要の低迷により景気は減速して推移しました。東南アジアでは、インフレ圧力の緩和や労働市場の改善などを背景に内外需要は回復に向かっており、景気は堅調に推移しました。日本経済は、海外における金融政策や地政学リスクなどにより景気下押しの懸念があるものの、雇用・所得環境が改善するなかで、緩やかな回復が続いております。

当社グループにおける市場環境につきましては、海外市場では世界経済の減速懸念はあるものの、各メーカーによる設備投資は堅調に推移しました。

一方、国内市場では半導体関連や自動車メーカーによる投資が継続しており、都市圏における再開発の需要も堅調に推移しました。

業績ハイライト



中期経営計画の進捗について

2023年3月期から2025年3月期までの3か年における当社グループの中期経営計画の進捗について、ご報告申し上げます。当社は今後もすべてのステークホルダーから高い信頼と評価を得られるよう、経営目標達成のために全力を尽くしてまいります。引き続き変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

基本方針	方向性	実績および進行中の主な取り組み
AI/IT事業のさらなる強化	付加価値を生み出し続ける事業展開	<ul style="list-style-type: none"> 半導体・EV電池・製薬関連などの成長産業の顧客との関係構築を推進。 上記のようなプロジェクトを通じ、顧客の高い要求に対応できるスペシャリストの育成を推進。
	技術の大きさを強化	<ul style="list-style-type: none"> 設計部門の強化とグローバル人材の育成を推進中。(若手社員の海外派遣、ナショナルスタッフ研修生の受け入れ実施中) EMS推進のための体制構築と独自の制御技術にAIを融合した空調管理システムを開発中。客先施設への導入に向けた検証実施中。 2024年3月期に竣工を迎えた超大型半導体工場の施工ノウハウを共有化、若手技術者への伝承を実施。
塗装システム事業	業務の仕組みの改善と生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> BIMを始めとする現場DX運用検証、業務マネジメントシステムの再整備実施中。 プロジェクト内容の共有アプリを構築し、協力業者とのパートナーシップを拡大中。 現場業務のプロントローディングとユニット化などの工場制作比率アップによる現場工数低限を推進する機能を担う「プロダクトマネジメント部」を新設し、現場ロードの平準化を推進中。
	国内外での確固たる地位の確立	<ul style="list-style-type: none"> 地域別事業戦略に基づいた日系・非日系顧客への営業活動および、非四輪新規顧客へのアプローチを実施中。欧州市場への進出のため、2024年7月に、ドイツに連結子会社 [Taikisha Deutschland GmbH] を設立。 国際カンファレンスへの積極的な参加などを通じ、グローバルブランディング戦略を展開。
新たな価値創出への挑戦	グローバルな社会課題を意識した開発	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラル関連の技術開発実施中。カーボンニュートラルに関連した顧客への技術者派遣や技術交流など顧客との協業も同時に推進中。 国内外開発拠点・ラボ・ショールームのグローバル展開および連携強化継続中。
	業務の仕組みの改善と生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> BIMクラウドサービスを活用した3D作図・設計業務のグローバル連携で「24h眠らない設計体制」を構築中。 施工現場のビジュアル遠隔管理システム運用、eラーニングによる各国ナショナルスタッフの教育・スキルアップを推進中。 膨大な過去のビッグデータから、AIによる情報自動抽出により、進行中プロジェクトにタイムリーアドバイスシステムを構築中。
新規事業の開拓	知的財産戦略の立案・推進	<ul style="list-style-type: none"> 自社知財の有用性の検証実施、他社知財の動向調査中。 環境システム事業、塗装システム事業、新規事業の各部門と連携して、知的財産戦略を立案・推進中。
	顧客観念の開発	<ul style="list-style-type: none"> 2024年7月に、新技術開発センター [TAIKISHA INNOVATION SITE Aikawa] (以下、TISA) の稼働開始。新宿本社にあるR&Dサテライト [TAIKISHA INNOVATION GATE Shinjuku] (以下、TIGS) との連携により、国内外の顧客に対して技術提案を実施中。
変革成長を支える経営基盤の強化	オーパインノベーション	<ul style="list-style-type: none"> [TISA] と [TIGS] との連携により、カーボンニュートラルなど環境貢献分野で顧客との協業推進中。 東京理科大学が取り組み、大気中のCO₂を直接回収する「ダイレクト・エア・キャプチャー (DAC)」の共同研究開発に参画中。DAC実験装置の製作を実施。
	強みとなる技術の水平展開	<ul style="list-style-type: none"> 精密空調チャンパー^{※1}の受注活動推進中。 ※1 半導体製造において装置まわりや、超精密加工や測定、検査を可能にする環境空間を構築する設備 排気処理装置のラインナップ拡充を実施中。 天井裏ダクト接続型の除菌システム「エアライザー」を開発。2026年販売開始を目標に量産化対応中。 2024年11月より、「FOLLOAS」^{※2}の販売開始。 ※2 2023年開発。人の動きに従って冷風を吹く吹出口システム 新規顧客獲得のための活動として、展示会を活用した活動を継続実施中。 高塗着効率技術の市場投入に向け、各種検証実施中。 ドライ加飾技術の開発実施中、2024年11月中をめぐりに国内R&D施設に実証ラインを設置完了予定。開発課題を海外R&D拠点と共有することで、開発速度を加速中。
人材資本の育成確保	植物工場事業	<ul style="list-style-type: none"> 自社工場にて実証実験継続中。市場開拓の戦略については継続検討中。
	新規事業の開拓	<ul style="list-style-type: none"> 大学、研究機関、民間企業と、市場調査に基づき、社会実装時のビジネスモデルを想定した新規事業に資する共同研究を実施中。
新たな価値提供に向けたデジタル戦略	人材資本の育成確保	<ul style="list-style-type: none"> 当社事業の推進に合致する意欲・能力の高い人材の獲得 (新卒採用90名、キャリア採用22名)。 経営職候補者育成プログラムの運用を開始し、CEOサクセッションプランにつながる執行役員への登用候補者の育成・教育を実施。 社内風土向上の一環として上司だけではなく、同僚や部下からの評価なども含めた360度フィードバック制度を一部開始。経営職候補者育成プログラム参加者に実施。 グローバル事業拡大を担う人材の早期育成を目指す海外ローリー制度の導入、2024年度より運用開始。 「健康経営優良法人 (ホワイト500)」認定取得 (総合順位451~500位)。 長時間労働対策として主に現場業務に従事する社員の実態把握と、課題および職場環境改善対策案を検討中。
	新たな価値提供に向けたデジタル戦略	<ul style="list-style-type: none"> 設計・積算・施工管理などのプロジェクトにおける各工程の生産性向上のためのデジタル化・DX化を推進中。設備BIMの標準化と普及・推進に向けた「設備BIM研究連絡会」に参加し活動。 グループ全体のコミュニケーション円滑化、ガバナンス強化のため共通基盤構築に着手 (グローバルコミュニケーション基盤、ITセキュリティ対策など)。 業務効率化のためチャットボットの全社利用を開始し、生成AI構築に着手。 DX推進を目的としたデジタル人材育成盤を実施、全社員向けITリテラシー教育を検討中。 グループ全体の経営情報一元管理し予測・シミュレーションを可能とするグローバル経営基盤を構築中。
グループガバナンス体制強化	グループガバナンス体制強化	<ul style="list-style-type: none"> 事業ごとの資本収益性を図る経営指標を導入し、運用を開始。 事業ポートフォリオの見直し、キャッシュフロー・エクセレンスなど資本効率の改善に向けた方針を策定中。 M&Aなどの事業投資に関して資本コストを加味した可否判断の仕組みを導入。 関係会社取締役会の役割・責任範囲を明確にし、実効性向上のための諸施策をPDCAサイクルで実施。同取締役会の機能強化を行うとともに、本社によるモニタリング体制強化を実施中。



事業の概要

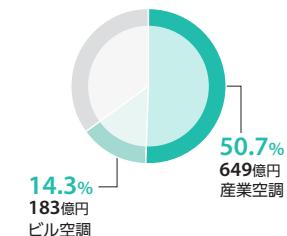
環境システム事業

経営資源の重点配分とお客さまへの積極的な提案活動により、さらなる受注拡大を目指します。

当事業は、クリーンルームなど工場向けの空調設備を設計・施工する産業空調分野と、オフィスビルなどの空調設備を設計・施工するビル空調分野を国内外で展開しています。今後の取り組みとしては、電気・電子部品、化学・薬品、医療器具など、高い技術力を発揮できる分野に注力し、「技術の大気社」を強化します。同時に脱炭素・低炭素化に取り組む国内外のお客さまにしっかりと寄り添い、カーボンニュートラル実現を目指します。

さらには、海外市場で今後投資が期待できる未進出国への事業エリア拡大など、事業領域の拡大を目指していきます。

● 環境システム事業 受注高
累計期間:2024.4.1~2024.9.30



Green Technology System Division

東和薬品・山形工場での生産能力増強工事が完了

2024年3月、東和薬品の山形工場において、第二無菌製剤棟、第三固形製剤棟が竣工しました。高品質なジェネリック医薬品の安定供給のため、継続的に生産能力の向上を図るという東和薬品の中期経営計画に基づいた生産能力増強工事の一環です。当社は本プロジェクトの空調・衛生・ユーティリティ設備工事を担当し、生産体制の強化に貢献しました。

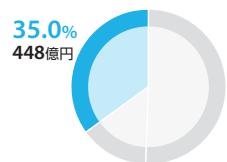


塗装システム事業

経営資源の重点配分と海外グループ会社との連携により、さらなる受注拡大を目指します。

当事業は、国内外の自動車メーカーを主要なお客さまとして、自動車塗装プラントの設計・施工を行い、この分野で世界トップクラスの売り上げを誇ります。今後の取り組みとしては、持続的成長を支える事業ポートフォリオの構築に向けて日系自動車メーカーとのより強固な関係性構築と、海外グループ会社との連携や研究所の拡充・活用により非日系自動車メーカーのニーズへの対応力を強化するとともに、オートメーション事業領域を拡充し、航空機・鉄道車両のような自動車以外の市場を拡大していきます。加えて、高い環境目標を設定している自動車メーカー各社の基本戦略に歩調を合わせ、カーボンニュートラル実現を目指します。

● 塗装システム事業 受注高
累計期間:2024.4.1~2024.9.30



Paint Finishing System Division

スズキ ハンガリー工場の改修工事が完了

2024年11月、スズキのハンガリー工場改修工事が完了しました。操業から四輪車を累計400万台生産している欧州における唯一の生産拠点です。当社は1992年の生産開始当初から塗装設備、自動塗装装置を納入してきました。今回、これまで手作業に依存していたボディ床裏の塗装作業もロボットに置き換え完全自動化し、塗装品質の安定化と生産性向上に貢献しました。



TOPICS

新・技術開発センター「TAIKISHA INNOVATION SITE Aikawa」を開設

開設の背景

1991年に神奈川県愛川で開設された技術開発センターは、基礎研究から実証実験まで幅広く取り組んできました。お客さまの課題と当社技術を融合し、「協創によるイノベーション」を実現するために、2019年度よりセンター内の改築を段階的に進めてきました。

今回の「ADVANCED PLAZA」の竣工をもって、先行で完成していた「SOLUTION LAB」「TECHNICAL LAB」と一体になり、新たな研究施設TAIKISHA INNOVATION SITE Aikawa (以下TISA)としてスタートします。

ADVANCED PLAZA

人・技術・情報が出会い、集まり、協創することで、大気社の未来の技術が生まれる場所

SOLUTION LAB

リアルスケールで技術検証を行い、課題解決を行う場所

TECHNICAL LAB

残響室やクリーンルームなどを備えた、特殊環境で技術検証を行う場所

TISAは、「人と情報と技術が集まる」をコンセプトに、オープンイノベーションにより、AI技術を含む革新的な技術開発を推進し、お客さまや社会のニーズを先取りした価値創造を実現します。

今後の展望

昨年4月、東京・新宿に、サテライト施設「TAIKISHA INNOVATION GATE Shinjuku」を開設しています。「人と情報と技術が集まる」というコンセプトのもと、国内外の拠点をつなげる多拠点同時会議の開催や、塗装システム部門のテクニカルセンター（神奈川県座間市）との連携の検討も進んでいます。

今後はTISAでの開かれた活動を通じ、お客さまを始めとするパートナーとの協創、部門や国を越えての情報発信が活性化し、イノベーションが生まれることを期待しています。

※ADVANCED PLAZAでは、CO₂排出量のネットゼロ化を目指し、太陽光集熱設備や直影式輻射空調でエネルギーを削減。太陽光発電によりZEB(ネットゼロ・エネルギービルディング)を達成し、評価機関から最高ランクの星を取得しています。



ドライ加飾システムのデモライン完成へ ～11月中をめどに稼働開始の予定 自動車メーカーの生産ラインへの早期採用を目指す～

当社はドライ加飾システムを組み込んだデモラインを神奈川県座間市にある同社のテクニカルセンターに設置し、11月中をめどに稼働を開始します。ドライ加飾技術は、従来のスプレー塗装(ウェット塗装)に代わり、フィルムを真空圧空成形技術によって貼り付けることで、自動車外装などをフィルム加飾(ドライ加飾)する技術です。自動車メーカー各社のCO₂排出削減目標や、生産技術の変革への対応を見据え、同技術の開発を進めてまいりました。

デモライン設置の背景

ドライ加飾技術に対する自動車メーカーの関心は非常に高まっています。本施設での自動車量産ラインを想定した各種検証の実施により、自動車メーカーによるドライ加飾システムの早期採用を目指しています。

今後の展望

本施設でのお客さまによるテストを通じ、製品化に向けた装置の精度向上や、お客さまの工場への導入に向けた運用・品質面の検証を進めます。また、本システムは自動車以外にも適用できる技術であるため、ドライ加飾が活用できる新たな製品への展開も検討しております。

今後も自動車外装などの付加価値提供技術となるドライ加飾の技術開発を通じ、脱炭素社会の実現に貢献していきます。





連結財務諸表および資本配当政策

連結財務諸表

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 中間期	2024年3月期	2025年3月期 中間期
完成工事高	202,548	209,261	214,793	130,411	293,556	114,626
営業利益	11,690	9,428	11,556	7,427	18,270	6,274
経常利益	12,287	10,818	13,001	8,101	19,852	7,078
経常利益率	6.1%	5.2%	6.1%	6.2%	6.8%	6.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	8,279	7,248	7,917	6,626	15,602	5,673
総資産	228,855	228,159	237,105	256,028	266,494	238,499
純資産	126,311	130,788	131,992	140,968	151,562	152,609
自己資本比率	52.9%	54.7%	53.1%	52.5%	54.0%	60.8%
営業活動によるキャッシュフロー	973	△8,544	4,806	13,677	20,738	△16,711
投資活動におけるキャッシュフロー	△6,913	△1,071	△1,748	△2,267	2,148	△2,526
財務活動におけるキャッシュフロー	△1,435	6,000	△9,822	△2,386	△5,545	△5,923
1株当たり当期純利益	243.03円	212.69円	234.62円	199.51円	471.94円	173.85円
1株当たり純資産	3,552.69円	3,658.54円	3,788.75円	4,053.23円	4,388.08円	4,469.53円

資本配当政策について

配当方針として、連結自己資本配当率(DOE) 3.2%を目標とし、安定的な配当を実施してまいります。過去の配当方針につきましては、配当性向による目標を掲げておりましたが、より安定的な配当を実施するため、2023年3月期よりDOE基準を導入しました。

なお、DOE基準の導入により、各期の当期純利益の目標達成に伴い自己資本が積み上がるため、1株当たり年間配当金額は2023年3月期は121円、2024年3月期は131円と増配となりました。

これに加えて、資本効率の向上と、機動的な財務政策の実現を目的として、自己株式取得と消却を弾力的に実施しております。中期経営計画においては、1年目の2023年3月期は、30億円の自己株式取得を実施し、2年目は、20億円、3年目も20億円を実施しました。

配当と自己株式の取得を合わせて、より高い水準の株主還元を目指してまいります。



株主情報

会社概要 (2024年9月30日現在)

商号 株式会社 大気社(Taikisha Ltd.)

創業 1913年4月10日

設立 1949年7月7日

資本金 6,455百万円

従業員数 (個別) 1,729名 (連結) 5,174名

グループ企業、取締役および監査役、株式情報については当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.taikisha.co.jp>



【グループ企業】

<https://www.taikisha.co.jp/corporate/information/group/>
トップページ > 企業情報 > グループ企業

【取締役および監査役】

<https://www.taikisha.co.jp/corporate/information/officer/>
トップページ > 企業情報 > 大気社グループについて > 役員紹介

【株式情報】

<https://www.taikisha.co.jp/ir/stock/info/>
トップページ > 株主・投資家情報 > 株式・株主情報 > 株式情報

株主メモ

証券コード 1979

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

特別口座の 株式会社みずほ信託銀行株式会社

口座管理機関

事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問合せ先 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告により行います(当社ウェブサイトに掲載)。

ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

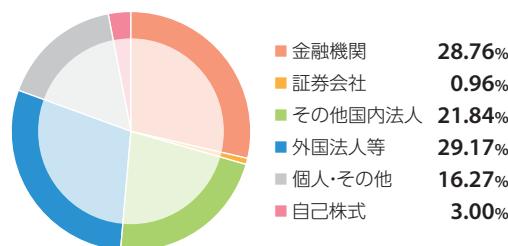
株式状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 33,582,009株
 株主数 4,269名

大株主 (所有株式数上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,050	12.43
株式会社建材社	1,730	5.31
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,533	4.71
大気社社員持株会	1,189	3.65
住友不動産株式会社	1,134	3.48
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001	1,088	3.34
株式会社第二建材社	1,000	3.07
大気社協力会社持株会	960	2.95
日本生命保険相互会社	866	2.66
株式会社みずほ銀行	659	2.02

所有者別株式分布状況 (株式数比率)



(注) 1.当社は、自己株式1,006,206株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
 2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3.[持株数]は千株未満を切り捨てて表示しております。